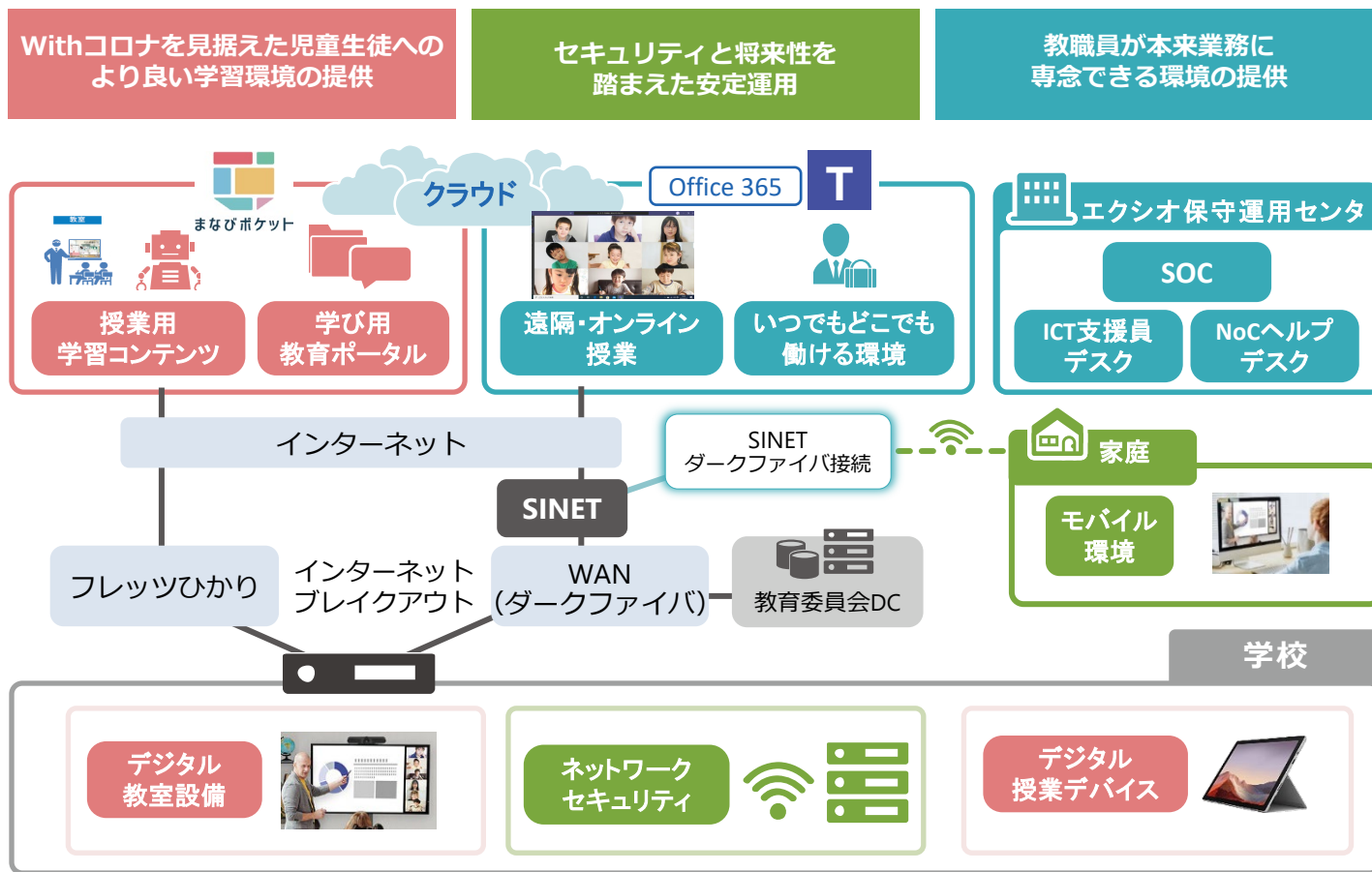


■アフターGIGAパッケージ（全体解決図）



会社概要

会社名	エクシオグループ株式会社 EXEO Group, Inc.
創立	1954年(昭和29年)5月17日
資本金	68億88百万円
株式	東証プライム市場上場
代表者	〔社長〕梶村 啓吾
売上高	連結6,708億円／単独2,931億円(2025年3月期)
従業員数	連結17,260名／単独3,778名(2025年3月31日現在)
本社	東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号 (03)5778-1111 (代表) https://www.exeo.co.jp
西日本本社	大阪府大阪市中央区内本町2丁目2番10号 (06) 6360-4057
事業所	支店/14 営業所/23



問い合わせ先

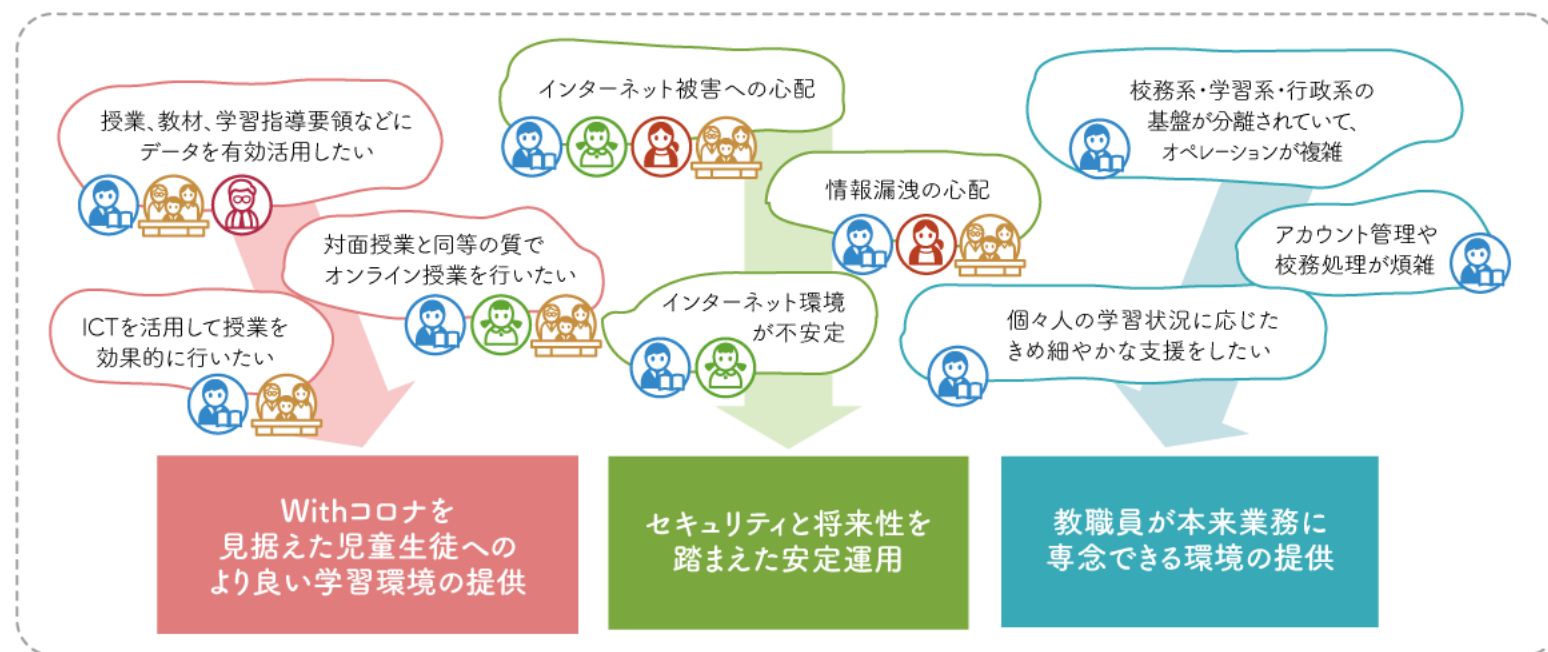


ソリューション事業本部 デジタルコンサルティング本部
E-Mail : mpn-ict@hqs.exeo.co.jp
URL : <https://www.exeo.co.jp/>

GIGAスクール

GIGAスクール基盤を活用したEdTechの実現

教育現場の未来像



EXEO エクシオグループ株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号 TEL.03-5778-1111 <https://www.exeo.co.jp>

■アフターGIGAメニュー

Withコロナを見据えた児童生徒へのより良い学習環境の提供

生徒のGIGAスクール端末・無線LAN整備

1つに統合した学習支援ソフトで学びを加速

MSツール（クラウド）フル活用

Office 365

GSuites

現在地

セキュリティと将来性を踏まえた安定運用

行政基盤並みのセキュリティレベル

有害なサイトからデバイスを保護

i-FILTER@Cloud

教職員が本来業務に専念できる環境の提供

教職員がいつでもどこでも働ける環境づくり

Office 365

Microsoft 365

学習支援との連携による教職員の負担軽減

校務の自動化

Power Apps

Power Automate

手厚いサポート

ヘルプデスク、保守サポート

成熟度

Withコロナを見据えた児童生徒へのより良い学習環境の提供

■まなびポケット

教師・児童生徒が多種多様なデジタル教材を簡単に学べる環境を提供します

<主な機能>

① シングルサインオンで簡単ログイン

② 学習履歴の集約で簡単管理

③ データ活用による個別最適指導

④ 豊富なデジタル教材

まなびポケット

代表的なデジタル教科

ドリル教材

授業支援

映像教材

図鑑・辞書

プログラミング

学習支援

利用シーン

授業

校務

■大型提示装置、遠隔授業システム

生徒一人ひとりと向き合うオンライン授業をご提供します

電子黒板タッチパネル

遠隔授業TV会議

オンラインの子供たちの表情や声まではっきりわかる

■通常パターン 約70万円（75インチ）

4K大型提示装置タッチパネル

③遠隔授業 miniPC

①電子黒板

②デジタル教科書対応

③遠隔授業 AVシステム(ベーシック)

遠隔学習用カメラ・スピーカ・マイク

■オプション（高画質・高音質AVシステム）

③遠隔授業 AVシステム(プレミアム)

高画質4Kカメラ

高音質マイク・スピーカ

③遠隔授業ワイヤレス4Kデジタルカメラ（オプション）

臨場感のあるライブ授業に最適

施工

（設計・配線・設置・設定・試験）

※天吊り、壁埋め込み

保守

（受付・ヘルプデスク・遠隔支援・オンサイト保守）

セキュリティと将来性を踏まえた安定運用

デジタル教育を定着するために、セキュリティ強化と将来性を踏まえたトラフィック増対策が不可欠

Office 365

GSuites

インターネット

教育委員会DC

①外部FW

DMZサーバ

教務系サーバ(proxy等)

校務系サーバ(メール、AD、proxy等)

内部FW

SINET 教育委員会ネットワーク

②インターネットブレイクアウト

④エンドポイントセキュリティ

家庭

③ルーター

A学校

B学校

エクシオ保守運用センタ

SOC

ICT支援員デスク

NoCヘルプデスク

対策①

外部FWの更改でDDoS対策

対策②

インターネットブレイクアウトでトラフィック分散

対策③

ルーターの更改で校内セキュリティを強化

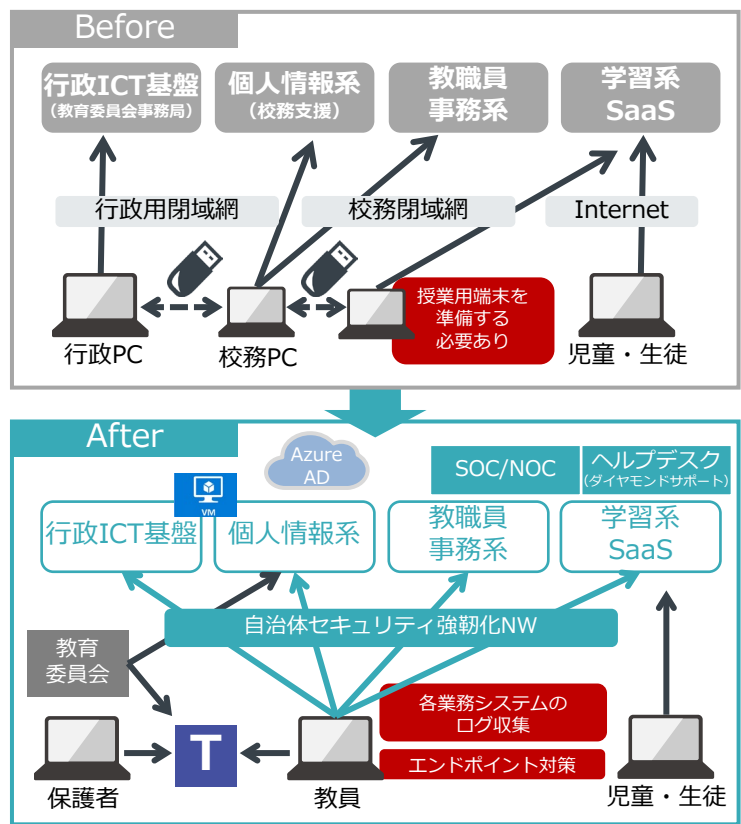
対策④

エンドポイントセキュリティ導入で生徒の安全を確保

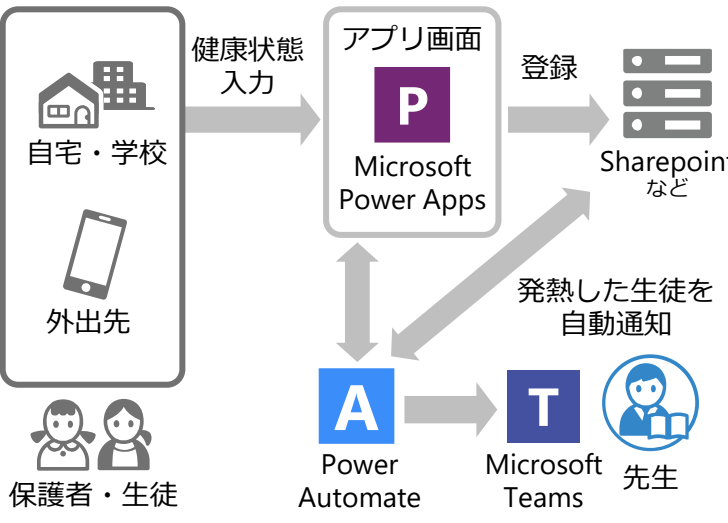
教職員が本来業務に専念できる環境の提供

■自治体ネットワークの強靱化

- 端末一台で各ネットワークへの安全な接続と運用管理の単純化が必要
- 校務の情報化・教職員の働き方改革のため、いつでも・どこでも働ける環境の実現



■校務の自動化



■授業支援システム

